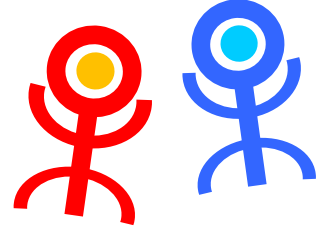


たましろの郷より

5月号

たましろの様子や今後の予定をお伝えするページです。



☆施設からの報告

◆自立支援法に基づく『新事業』に移行しました

4月1日付をもって、東京都から『入所施設』『生活介護』『短期入所』3事業のサービスを行う障害者支援施設として認定されました。施設の運営方針が変わることはなく、日中活動の3グループ制や作業内容などはこれまで通りで2日からスタートしました。

◆賃借契約だった『駐車場』を買い取る予定です

3月24日開催された2011年度第4回『評議会・理事会』において、これまで賃借だった施設前庭上部の駐車場(約400坪)を買い取ることになり、価格など交渉に入りました。

◆「ろう重複者」の情報発信基地として位置付けていきます

ともすると後援会のご協力を始め、見学者、ボランティア、学生の実習などさまざまなご支援を一方的に受け入れる立場でしたが、これを更に進めて施設の存在とその実践などを社会に啓発していく「情報発信基地」として前向きに取り組んでいく予定です。

☆耳の日報告

3月4日(日)、耳の日記念文化祭にて舞台イベント「たましろの郷 なかまたちの報告」を行いました。初めて参加した職員の感想を掲載します。

「私自身は、なかまたちの報告の練習には携わることができなかったのですが、外勤清掃から帰ってくると、なかまのみんなが練習した事を楽しそうに教えてくださいました。クッキー作りの報告や畑の作業報告など、間違えると最初からやり直し、出来るまで何度も繰り返していました。

当日、会場に着くと来客者の多さにびっくりしました。会場の外では焼きそばなどを販売していたり、会場の中では占いやバザーなどいろいろなブースがあり、見ているだけで楽しくなりました。

午後1時より、「たましろの郷 なかまたちの報告」を行い、なかまたちの報告している姿を見て「手話は言語」ということがよく分かったような気がしました。耳の日などのイベントに参加したことがなかったので、とても新鮮で勉強になりました。

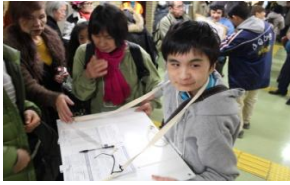
当日の写真はこちら！



会場に到着です。美味しい模擬店、楽しいブースがたくさんあります。バザーコーナーでは、アクセサリなどを熱心に見て回る女性利用者も。



お昼ご飯は模擬店で。焼きそば、ホットサンド、玉こんにやくなどなど…外は寒いけど、好きなものを買って食べるのはやっぱり楽しい！おいしい！



食べてばかりではないですよ。署名活動などのお仕事もがんばりました。



なかまの報告。各自の作業内容や、24年度の行事の呼びかけなど、練習した甲斐がありました。

☆なかま、10年来の引越し



たましろの郷では、2年ごとに入所のなかまの部屋替えを行います。これまで、男性が2階、女性が1階で固定していましたが、今年は施設創立以来初めて、フロアごと引越しをしました。車椅子や杖を使用していたり、歩行障害のあるなかまがスムーズに移動できるように、そして新しい環境の中生活に張り合いを持つことができるように、という思いから、今回の引越しになりました。

この引越し、楽しみではあるのですが、大変な面もありました。まずはなかまへの説明にひと苦労。ある男性は、1階に引っ越すのは嫌だと言いました。2階にある食堂から遠くなるという理由からです。職員が頭を悩ませた結果、「1階の方が、家に帰る時に近いよ」と告げました。するとたちまち納得してくれました！という一コマもありました。

また、いよいよ荷造りという時になって、段ボールが不足。特に女性は、荷物が多いですから。土日の買い物の時に、お店の方をお願いし、分けていただき、何日もかけて、大切な持ち物をその中にしまっ準備しました。

なんやかんやとありましたが、約1週間の準備期間を設けて無事に引越し完了。なかまからも様々な感想がありました。女性からは、「食堂やお風呂が近くなって楽になった」「2階は明るい、日当たりが良いね」など。男性からは、「食堂が遠くなった」という不満がでることも予想していたのですが…「〇〇さんと一緒に部屋だ」など、同室のなかまとの話題が中心でにこやかでした。

引越しからしばらくは、元の自分の部屋に帰ろうとしてしまい、「間違えたでしょ」と指摘され、スキップでごまかして恥ずかしそうにするなかまも。半月ほど経つと、すっかり慣れたようで、みんな新しい部屋に落ち着いています。このように、説明や対話や準備、移動後、それぞれの過程で、一人ひとりが「引越し」を受けて入れていきました。例年に増して、新鮮さを感じながらのスタートとなりました。

☆事業移行に向けて全職員研修

3月28日、全職員で研修を行いました。近隣の障害者支援施設「花の里」さんから施設長と支援課長の2名をお招きし、施設移行をした経緯や移行後の現状などの講演をして頂きました。

花の里さんとたましろの郷は、他2施設とも合同で防災協定を結んだり、夏祭りやもちつき集会にはお互い参加しあうなど、日頃から交流のある施設です。移行準備では、職員が自主的に勉強し、日々の生活や作業内容の見直しも重ね、事務的には大変苦労したとのことで大きな共感もありました。

両施設では、なかまの障害、入所者数、職員数、移行準備の取り組み方等たくさんの違いがあります。一方で共通しているのは、なかまが安心して有意義な生活を送れるために何が必要か？何が出来るか？を考え、その実現のために日々の支援をどう重ねていくかが問われるということでした。これは、これは、今後もずっと大切にしていきたいと思います。

たましろの郷にも、なかまの生活面や日中活動内容など改善していきたい点が多々あります。なかま、ご家族をはじめたくさんの支援者の方々に支えられてたましろの郷があるということを忘れずに、毎日の支援を大切にしていきたいと思います。

☆入所式・開所式

4月2日より今年度がスタートし、午前中は全利用者が集合して「入所式・開所式」を行いました。

正面玄関も、朝からきれいに飾りつけして、なかまが集合するのを待ちます。



全員揃ったら、式の開始です。

今年度から新しく利用者になったなかまはいなかったのですが、昨年度の途中からの通所者の男性と、入所者の女性の紹介をしました。

理事長、家族会の方、施設長からの挨拶に続き、なかまの立候補による抱負や目標の発表。「清掃作業をがんばります」「ケンカをしないように、落ち着きます」「行事が楽しみ」など、思ったよりもたくさんのなかまが立候補してそれぞれの思いを語りました。長い春休みを終え、たくさん発表したいことがあったようです。

その後、職員から今年度のなかまの作業グループの発表と説明、生活のルールの確認などをして、終了となりました。



昼ごはんは、式に参加されたご家族とも一緒にいただきます。普段よりちょっと豪華なお祝いメニューでした。



☆春満開

3月終り頃、ふと見ると中庭の花壇にクロッカスの小さな花が咲いていました。それから数日、ムスカリの青い花も咲いていました。去年、なかまが作業で球根を植えたものです。その次には、赤や黄色のチューリップ。長い冬を越えて出てきた花びらは、どれもとても鮮やかな色です。



花壇が鮮やかになると、次に楽しみなのが桜でした。たましろに植わっている1本のしだれ桜。これは施設創立の際に大変お世話になったご夫婦に寄付して頂いたもので、とても思い入れのある桜です。

毎朝、中庭でラジオ体操とウォーキングをするのですが、つぼみが膨らんで少しピンクの花びらが見えるようになると、なかまも気になり始めたようで「花・まだ」など言いながら待っていました。施設長も、毎日至近距離でじっくり観察しては「まだだ」「あと数日に違いない」と頷いて待っていました。

そして4月8日頃、ついに開花。強い雨が続いたこともあってピークはとても短かったですが、しだれた枝につながって開く淡いピンク、とてもきれいでした。

冬の間灰色の空ばかりだったので、風が柔らかく暖かくなって植物の色が加わると、気持ちも明るく穏やかになります。早くも来年の開花が楽しみです。

桜の雰囲気をお伝えしたいので、たくさん掲載します。



逆光やにじんで写っているものも、趣があって良いですね。



お花見しながらの、朝の体操とウォーキングです。

しいたけもどんどん大きくなり、毎日のように収穫しました。1~2日で本当に大きくなるんです。収穫が間に合わずに20cmを越えた「巨大しいたけ」に出会うこともたびたびでした。



施設内でも、春の訪れを感じるがあります。3月中旬からアリは見かけていましたが、そろそろ小さな虫たちが廊下に出没しています。だんごむし、蛾、見たことはあるけれど名前は知らない多くの虫たち…夏にはこれらの巨大サイズが飛び回るようになります。虫に関しては増えるのが楽しみとは言えませんが、それも春の風物詩の一つかなと思えるようになりました。

☆その他、最近のたましろ

- ①毎月恒例のおやつ作り、春らしく「さくらもち」を作りました。
- ②新しくなった市役所で開催された「おうめ福祉まつり」に出店し、なかまも参加しました。
- ③職員数名がインフルエンザを発症しましたが、施設利用者への感染は食い止めることができました。地道に実施してきた「うがい・手洗い・噴霧器による消毒」の効果を感じました。

☆ボランティア募集

たましろの郷では、日中活動に協力して下さるボランティアさんを、随時募集しています。手話など、特別な技術はなくても参加できます。作業や余暇など、一緒にいて頂くだけでも大歓迎です。

○日中活動ボランティア

たましろでは、委託清掃、製菓(クッキー)の他に、軽作業、レクリエーション等の活動に取り組んでいます。手話や特別な技術よりも、一緒に過ごして楽しんでもらえるボランティアさんを、いつでも受け入れています。

施設内の主な活動

	月	火	水	木	金
午前	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業
午後	レク	軽作業 レク	レク	軽作業 レク	レク

※毎日午後はレクを行っています。

レクの内容は、スポーツ、ドライブ、調理、ビデオ鑑賞、生活支援などです。

※平日は、送迎バスを利用できます。事前にお問い合わせください。

○休日余暇活動ボランティア

施設のなかま、職員と集団で一緒に過ごします。

職員と一緒におりますので、ご都合に合わせて気軽に遊びに来て下さい。

余暇の活動内容は、ボランティア情報をご覧ください。

☆5月ボランティア情報はこちら

こちらから5月のボランティア情報をご覧ください。